



平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 大倉工業株式会社

コード番号 4221 URL <http://www.okr-ind.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高浜 和則

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役常務取締役コーポレートセンター担当兼経理部長 (氏名) 豊田 員史

TEL 0877-56-1111

四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	65,695	△1.3	1,654	18.1	1,478	5.0	919	△19.9
25年12月期第3四半期	66,532	8.1	1,401	△3.3	1,407	11.8	1,147	10.9

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 1,006百万円 (△54.0%) 25年12月期第3四半期 2,187百万円 (119.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	15.41	—
25年12月期第3四半期	19.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	87,779		37,013			42.2
25年12月期	90,730		36,459			40.2

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 37,013百万円 25年12月期 36,459百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	7.50	7.50
26年12月期	—	0.00	—		
26年12月期(予想)				7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,500	3.1	2,600	29.3	2,300	14.4	2,100	30.8	35.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期3Q	62,074,351 株	25年12月期	62,074,351 株
26年12月期3Q	2,409,395 株	25年12月期	2,394,054 株
26年12月期3Q	59,672,608 株	25年12月期3Q	59,974,052 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う影響はあったものの、政府の経済対策効果や雇用情勢の改善、設備投資の増加などに支えられ、緩やかな回復基調を続けてまいりました。しかし足元では、夏場の天候不順に加え、駆け込み需要反動減からの回復の遅れ、鉱工業生産が振るわないなかでの在庫の増加などと、景気回復の動きが弱まっている状況にあります。

当社グループにとりましては、特に合成樹脂事業や建材事業がこの天候不順や反動減からの回復の遅れの影響を受けました。さらに、新規材料事業においても新製品への認定取得遅延の影響が重なったため、当社グループの売上高は656億9千5百万円（前年同四半期比1.3%減）と減収に転ずることとなってしまいました。固定費の削減などによって、営業利益は16億5千4百万円（前年同四半期比18.1%増）、経常利益は14億7千8百万円（前年同四半期比5.0%増）と増益を維持することができました。四半期純利益は税務上の繰越欠損金の解消に伴う法人税の増加などにより、9億1千9百万円（前年同四半期比19.9%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

〔合成樹脂事業〕

懸案の製品価格修正は進んだものの、天候不順の影響も重なった農業向けをはじめ、大半のフィルムの販売量が反動減からの回復の遅れにより落ちたため、売上高は369億6千5百万円（前年同四半期比1.0%減）、営業利益は16億4千8百万円（前年同四半期比12.3%減）となりました。

〔新規材料事業〕

光学フィルムの販売数量が、新製品への認定取得が遅延しているため、当第3四半期連結会計期間において前年のような伸びを欠き、売上高は188億5千5百万円（前年同四半期比8.8%減）、営業利益は9億7千8百万円（前年同四半期比5.0%増）となりました。

〔建材事業〕

前年6月のパーティクルボードJIS認証再取得以降、同製品の販売数量はこれまで順調に回復してきましたが、消費税増税後は住宅着工件数が2ケタ前後のマイナスとなった影響を受け、売上高は56億6千3百万円（前年同四半期比27.1%増）にとどまりました。営業損失は固定費の削減などに努めたこともあり9千2百万円（前年同四半期比3億7千3百万円改善）となりました。

〔その他〕

木材加工（プレカット）事業及び情報処理システム開発事業が順調に売上を伸ばしたため、売上高は42億1千万円（前年同四半期比3.5%増）、営業利益は3億1千5百万円（前年同四半期比2.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ29億5千万円減少し877億7千9百万円となりました。その主な内訳は、受取手形及び売掛金など流動資産の減少37億5千4百万円及び有形固定資産など固定資産の増加8億3百万円によるものであります。

一方、負債につきましては、1年内返済予定の長期借入金など流動負債の増加19億3千万円、長期借入金など固定負債の減少54億3千4百万円により、前連結会計年度末に比べ35億4百万円減少し507億6千6百万円となりました。

また、純資産は、利益剰余金の増加4億7千1百万円などにより、前連結会計年度末に比べ5億5千3百万円増加し、370億1千3百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて2.0ポイント上昇し、42.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年2月14日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,838	6,430
受取手形及び売掛金	27,093	24,536
商品及び製品	4,563	5,360
仕掛品	934	887
原材料及び貯蔵品	3,250	3,227
販売用不動産	260	174
繰延税金資産	315	368
その他	988	506
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	45,238	41,484
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,514	16,873
機械装置及び運搬具（純額）	8,420	8,639
土地	6,619	6,619
建設仮勘定	4,231	4,471
その他（純額）	606	527
有形固定資産合計	36,392	37,131
無形固定資産	205	219
投資その他の資産		
投資有価証券	7,342	7,451
繰延税金資産	72	65
その他	1,505	1,447
貸倒引当金	△27	△19
投資その他の資産合計	8,893	8,945
固定資産合計	45,492	46,295
資産合計	90,730	87,779

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,793	16,656
短期借入金	8,400	10,320
1年内返済予定の長期借入金	2,552	6,975
リース債務	708	718
未払法人税等	96	213
設備関係支払手形	168	15
賞与引当金	—	469
その他	7,471	5,750
流動負債合計	39,190	41,121
固定負債		
長期借入金	9,454	4,531
リース債務	1,312	773
繰延税金負債	601	659
退職給付引当金	2,626	2,612
その他	1,085	1,069
固定負債合計	15,080	9,645
負債合計	54,270	50,766
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,619	8,619
資本剰余金	9,068	9,068
利益剰余金	17,463	17,935
自己株式	△817	△822
株主資本合計	34,333	34,800
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,823	1,893
為替換算調整勘定	302	319
その他の包括利益累計額合計	2,126	2,212
純資産合計	36,459	37,013
負債純資産合計	90,730	87,779

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	66,532	65,695
売上原価	58,513	57,232
売上総利益	8,018	8,463
販売費及び一般管理費		
販売手数料	86	91
運送費及び保管費	1,812	1,940
給料	1,543	1,550
賞与	182	225
賞与引当金繰入額	154	120
役員報酬	226	222
退職給付費用	117	111
役員退職慰労引当金繰入額	9	—
減価償却費	92	78
研究開発費	828	793
貸倒引当金繰入額	△0	7
その他	1,562	1,665
販売費及び一般管理費合計	6,616	6,808
営業利益	1,401	1,654
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	62	62
為替差益	121	23
雑収入	106	105
営業外収益合計	294	194
営業外費用		
支払利息	261	242
債権売却損	5	—
持分法による投資損失	—	106
雑損失	21	22
営業外費用合計	287	370
経常利益	1,407	1,478
特別利益		
固定資産売却益	38	2
投資有価証券売却益	54	—
特別利益合計	92	2
特別損失		
固定資産除売却損	57	247
投資有価証券売却損	9	—
建物等除売却損失引当金繰入額	13	—
特別損失合計	81	247
税金等調整前四半期純利益	1,419	1,233
法人税、住民税及び事業税	215	336
法人税等調整額	56	△22
法人税等合計	271	313
少数株主損益調整前四半期純利益	1,147	919
四半期純利益	1,147	919

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,147	919
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,039	69
持分法適用会社に対する持分相当額	—	17
その他の包括利益合計	1,039	86
四半期包括利益	2,187	1,006
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,187	1,006
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	合成樹脂 事業	新規材料 事業	建材事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	37,326	20,682	4,455	62,463	4,068	66,532	—	66,532
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	—	—	2	392	395	△395	—
計	37,328	20,682	4,455	62,466	4,460	66,927	△395	66,532
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,879	931	△466	2,344	308	2,653	△1,251	1,401

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、木材加工事業、宅地造成及び建物建築事業、情報処理システム開発事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,251百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,251百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	合成樹脂 事業	新規材料 事業	建材事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	36,965	18,855	5,663	61,484	4,210	65,695	—	65,695
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	—	—	3	384	388	△388	—
計	36,968	18,855	5,663	61,487	4,595	66,083	△388	65,695
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,648	978	△92	2,534	315	2,849	△1,194	1,654

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル事業、木材加工事業、宅地造成及び建物建築事業、情報処理システム開発事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,194百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,195百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。